

# 行田市制施行75周年記念事業報告書



行田市制施行75周年記念事業実行委員会



～行田市制施行75周年記念事業目次～

**1 市制施行75周年記念事業について**

市制施行 75 周年記念事業について…………… 3

**2 市民提案実施事業**

1. 「遊びと文化の融合」書道イベント「爛漫～イロトリドリノセカイ～」 …… 4  
2. 行田花手水アートフェスタ …… 6  
3. オリジナル朗読劇「あっぱれ！」 …… 8  
4. 市制施行75周年記念合唱曲委嘱初演及び第40回行田市合唱祭 …… 10  
5. 忍城甲斐姫物語 …… 12  
6. 甲斐の道の創造…未来への光 …… 14  
7. 「忍城を守れ！～サムライ・にんじゃ募集～」夏の陣/冬の陣 …… 16  
8. 市制施行75周年記念ファミリーミュージカルコンサートと  
記念ご当地オリジナルソング制作事業 …… 18

**3 冠事業**

1. 行田春まつり …… 20  
2. 市民活動フェア2024春まつり …… 22  
3. 第38回陸王杯行田市鉄剣マラソン大会 …… 24  
4. 春の収蔵品展 忍城ゆかりの武具 …… 25  
5. 大将まつり2024  
成田長親忍城城主就任434周年 長親！さぼらない宣言！ …… 26  
6. 田んぼアート米づくり体験事業 …… 28  
7. 第31回行田市綱引き大会 …… 30  
8. 第34回テーマ展 お伊勢まいりと行田 …… 31  
9. 第74回“社会を明るくする運動”行田地区大会 …… 33  
10. 第27回ときめきレインボーフェスティバル …… 35  
11. 2024行田浮き城まつり …… 37  
12. 一日市長体験 …… 39  
13. 行田市敬老祝賀式典 …… 41  
14. 第7回ぎょうだ郷土かるた大会 …… 42  
15. トークイベント「能と足袋」 …… 44  
16. 第37回企画展 布をまとう-古代人の衣- …… 45  
17. 第32回浮き城のまち行田こどもまつり …… 47  
18. 防犯のまちづくり・暴力追放市民大会 …… 49  
19. 行田古墳フェスティバル …… 51

20. 図書館まつり	53
21. 第71回行田市民体育祭	54
22. 第50回行田市菊花展	55
23. 埼玉県芸術文化祭2024地域文化事業第76回行田市文化祭	56
24. 市制施行75周年・文化の日記念式典	58
25. 秋の読書週間特別映画会	60
26. 第39回浮き城のまち行田少年の主張大会	61
27. 行田市防災フェア	63
28. 第26回行田市障がい者(児)スポーツレクリエーション大会	65
29. 第17回彩の国21世紀郷土かるた行田大会	66
30. 第45回行田商工祭・忍城時代まつり	68
31. 大人のための朗読会	70
32. 行田市人権教育合同学習講演会	71
33. わらアート制作事業	72
34. 第66回浮き城のまち行田駅伝競走大会	74
35. 冬の収蔵品展	
おもちゃのどうぶつえん～藤間コレクション郷土玩具の世界～	75
36. マンホールカード特別配布(受験生応援セット)	76
37. 舞台「忍伝説2024」	78
38. 市民フォーラム(地域包括ケア)	80
39. 第39回行田市小中学生将棋大会	82
40. 第34回行田市なわとび大会	84
41. 第15回少年少女囲碁大会	85
42. 博学連携展示 行田市のうつりかわり	87
43. 第27回公募行田市美術展	88
44. 第29回行田市公民館ふれあいコーラス発表会	90

#### 4 広報・宣伝

1. 各種メディア等での記事の掲載	92
-------------------	----

#### 5 資料

1. 行田市制施行75周年記念事業実行委員会設置規程	94
2. 行田市制施行75周年記念事業検討委員会設置要綱	95
3. 行田市制施行75周年記念事業補助金交付要綱	96

## 1 市制施行75周年記念事業について

本市は、昭和24年5月3日の市制施行から令和6年度で75周年を迎えた。

この節目の年を市全体で祝うとともに、郷土愛や一体感の醸成を図り、まちの活性化につなげることを目的に、各種記念事業に取り組むもの。

### 実施期間

令和6年(2024年)4月1日 ~ 令和7年(2025年)3月31日

### 事業の構成

#### (1)市民提案実施事業

市制施行75周年を迎えるにあたり、市民、団体等が企画・提案し、自ら実施するもの。

応募のあった19事業のうち、75周年事業としてふさわしいと認められた8事業について、その実施費用の一部を補助した。

#### (2)冠事業

例年実施している事業及び新規事業の中で、市制施行75周年事業としてふさわしい事業に「行田市制施行75周年記念事業」という冠をつけて行うもの。

44事業に冠をつけ、盛大に実施された。

## 2 市民提案実施事業

1.

事業名	「遊びと文化の融合」書道イベント 「爛漫～イロトリドリノセカイ～」
事業主体	彩 art co.lab
実施年月日	令和6年11月2日(土)～3日(日)
実施場所	行田商工センター
参加人数	329名
事業内容及び効果	<p>市制施行75周年を記念した、子どもから大人まで楽しめる市民参加型の書道イベントを行うことで、文化の発展・向上、市民のふれあいの場の創出を目的とするもの。</p> <p>11月2日及び3日に、行田商工センターを会場とした書道展及び書道パフォーマンスを開催した。</p> <p>書道展は、市民の方を対象とし自由な発想で書いてもらうアート部門と審査部門の公募により実施した。</p> <p>書道パフォーマンスは、75人の参加者を募り、各々が行田にちなんだ言葉を記し、市制施行75周年を記念した1つの作品を作り上げ、行田の魅力を改めて振り返る場とした。</p> <p>また、書道に触れたことのない方でもイベントに参加しやすいよう、子どもから大人まで誰もが遊べる昔懐かしい縁日を同時に開催し、幅広い層の方が楽しめる場となった。</p>
事業経費	909,550円
備考	

<書道展>



▲展示された作品

<書道パフォーマンス>



▲作成時の様子

▲参加者が一丸となり、作成された作品

<縁日>



▲射的を楽しむ参加者

## 2.

事業名	行田花手水アートフェスタ
事業主体	アートフェスタ実行委員会
実施年月日	令和6年6月1日(土)、9月21日(土)、11月16日(土)
実施場所	忍城址
参加人数	186名
事業内容及び効果	<p>市制施行75周年を記念するとともに、本市の観光事業として定着した花手水をモチーフに市民参加型のアートイベントを開催することで、文化振興や市民の一体感の醸成を図ることを目的とし開催。</p> <p>花手水ライトアップイベント「希望の光」にあわせてアート作品の共同制作および2つのワークショップを行った。</p> <p>① 6月 1日(土)みんなで作る花手水アート  ② 9月21日(土)ボールブーケワークショップ  ③11月16日(土)光る浮き球風オブジェワークショップ</p>
事業経費	627,452円
備考	

<ワークショップ>



▲作成時の様子



<共同制作>



▲作成された花手水アート

## 3.

事業名	オリジナル朗読劇「あっぱれ！」
事業主体	中野 優子
実施年月日	令和6年6月29日(土)
実施場所	牧禎舎
参加人数	75名
事業内容及び効果	<p>旧足袋工場である牧禎舎を会場としたオリジナル朗読劇「あっぱれ！」を開催。</p> <p>オープニングでは行田市を中心に活動するお楽しみユニット「明るく挨拶」がミニライブを行ったほか、自らが手がけたテーマ曲を演奏し朗読劇を盛り上げた。</p> <p>市民も朗読に参加し、脚本には忍城、足袋、ゼリーフライなどを盛り込み、多くの市民が楽しむイベントとなった。</p>
事業経費	294,787円
備考	

<おたのしみユニット「明るく挨拶」によるミニライブ>



▲オリジナルソングの歌唱

<朗読劇「あっぱれ！」>



▲満員となった会場

## 4.

事業名	市制施行75周年記念合唱曲委嘱初演及び第40回行田市合唱祭
事業主体	行田市合唱連盟
実施年月日	令和7年3月23日(日)
実施場所	産業文化会館
参加人数	460名
事業内容及び効果	<p>市制75周年を記念した、新たな合唱曲を作曲家に委嘱し、第40回行田市合唱祭で初演した。</p> <p>日本を代表する合唱音楽の作曲家、指揮者である松下耕氏により作曲された新曲「私たちの世界から」は、行田市の歴史と風土に着想を得ながらも、全国の合唱人によって愛され、未永く歌い継がれるであろう普遍性と芸術性を備えた傑作となった。</p> <p>また、当日は8つの合唱団体が出演。日々の練習成果を発表し、多くの観客を魅了した。</p> <p>【出演団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行田フロイデ</li> <li>・コール・エリカ</li> <li>・コーロ・フィオーレ</li> <li>・女声合唱団 萌音</li> <li>・行田男声合唱団</li> <li>・ながのフラウエンコール</li> <li>・行田女声合唱団</li> <li>・女声合唱団 きらめき</li> </ul>
事業経費	1,231,170円
備考	



▲出演者一同による「私たちの世界から」の合唱



▲各出演団体の発表の様子

5.

事業名	ミュージカル「甲斐姫物語」
事業主体	行田アンサンブル協会友の会
実施年月日	令和7年2月23日(日)
実施場所	産業文化会館
参加人数	850名
事業内容及び効果	<p>戦乱の時代、幼くして母との辛い別れを経験しながらも母の教えを守り文武両道に秀でた女性へと成長し、石田三成による水攻めから忍城を守り抜くなど、波乱万丈の生涯を送った実在の人物「甲斐姫」を主人公に、音楽、歌、演舞、踊り、朗読でミュージカル風の舞台を演出した。</p> <p>甲斐姫役を西崎流家元・俳優・歌手の西崎緑さんが演じたほか、行田アンサンブル協会の演奏家・合唱団や地元で活動しているロータスフェアリーズの子ども達、下中条獅子舞保存会の皆さんの熱演により大スペクタクルなステージが展開された。</p> <p>会場も観客でいっぱいになり、「甲斐姫」について多くの人に知っていただくことが出来た。</p>
事業経費	6,607,373円
備考	



▲甲斐姫と母親の別れのシーン



▲忍城が水攻めに遭うシーン



▲オリジナルソング  
「HIMEGOTO」の歌唱



▲出演者全員集合



▲行田アンサンブル協会による  
演奏の様子



▲会場の様子

## 6.

事業名	甲斐の道の創造・・・未来への光
事業主体	特定非営利活動法人 魅力創造倶楽部
実施年月日	令和6年11月9日(土)～令和7年2月28日(金)
実施場所	水城公園東側 ヴェールカフェ周辺及びアオイの池、小池
参加人数	期間中来訪者数 約 11,500 名
事業内容及び効果	<p>市内に来た人たちを拡大誘導。忍城と八幡通りと水城公園を繋げ、時間帯ごとの賑わいを創出する。また、市民の憩いの場所である水城公園を『歩きたくなる場所・集える場所』に演出する。</p> <p>11月中旬から2月下旬まで、水城公園内の木々のライトアップ&amp;イルミネーション及びアオイの池及び小池の水面のイルミネーションを行った。</p> <p>11月9日に開催した点灯式式典では、市内の学生の吹奏楽の演奏や市内で活躍する団体や歌手のステージのほか、ものづくり大学の学生が制作したモニュメントの設置、キッチンカーのブースを設置するなどし、当日はたくさんの来場があった。</p> <p>また、近隣で開催されている催し物へ来場された方に、当ライトアップ場所へ足を運んでいただき、水城公園・ヴェールカフェを中心とした魅力発信と新たな賑わいの創出を行うことが出来た。</p>
事業経費	961,701 円
備考	



▲▼公園内の木々のライトアップの様子



▲<sup>しょういけ</sup>小池のライトアップの様子



▲ものづくり大学生が制作したモニュメント



▲フラダンスの発表の様子



▲キッチンカーブースの様子

## 7.

事業名	「忍城を守れ！～サムライ・にんじゃ募集～」夏の陣/冬の陣
事業主体	忍の武士団
実施年月日	夏の陣 令和6年8月25日 冬の陣 令和7年1月5日
実施場所	夏の陣 行田市産業文化会館 冬の陣 忍城址
参加人数	夏の陣 1,000名 冬の陣 1,200名
事業内容及び効果	<p>忍城軍をモチーフに侍体験、忍者体験等のアトラクションを用意し、子ども達に忍城の歴史に触れてもらうことで、行田の素晴らしさを広めることを目的として開催。</p> <p>忍城址内を、「遊ぶ」、「観る」、「食す」等のゾーンに分け、来場者に様々な体験を提供した。</p> <p>夏の陣、冬の陣2回の開催で合計2,000人が来場し、子ども達忍城や地元の歴史に興味をもつキッカケを作ることが出来た。</p>
事業経費	1,000,493円
備考	

<遊ぶゾーンの様子>



▲サムライ道場の様子



▲忍者道場の様子

<観るゾーンの様子>



▲作成した楽曲「忍城を守れ！」での演舞



▲遊ぶゾーン観るゾーンで活躍した  
忍者軍団ちゃんばらあ〜ず



▲観るゾーンに集う来城者

<食すゾーンの様子>



▲食すゾーンに集うキッチンカー

8.

事業名	市制施行75周年記念ファミリーミュージカルコンサートと 記念ご当地オリジナルソング制作事業
事業主体	市制施行75周年ファミリーミュージカルコンサート実行委員会
実施年月日	コンサート開催日:令和7年3月2日(日)
実施場所	産業文化会館
参加人数	600人
事業内容及び効果	<p>行田市制75周年を記念した、市民参加型ご当地オリジナルソングを制作し、ファミリーミュージカルコンサート「Voice to Voice」内で披露するもの。</p> <p>制作されたオリジナルソング「Life with you～手を繋いで～」は、メジャーでの音楽活動経験のある Kiyohito 氏が、行田市の魅力、伝えたいことなどを市民から直接伺い作曲され、コンサートのみならず、Youtube 等に投稿し、国内外に行田市を PR した。</p> <p>コンサート当日は、オリジナルソングを披露するだけでなく、プロの歌手やミュージカル俳優が市民と一体となり、クラシックの名曲や珠玉のミュージカルソングなど合計30曲以上を披露した。</p>
事業経費	3,376,629 円
備考	



▲練習時の様子



▲オリジナルソングを出演者と参加市民が一体となり歌唱する様子



▼コンサートの様子

### 3 冠事業

1.

事業名	行田春まつり
担当部署	環境経済部 商工観光課
実施年月日	令和6年4月6日(土)
実施場所	公園通りの一部(コミュニティセンターみずしろから忍・行田公民館まで)
参加人数	10,000名
事業内容及び効果	<p>行田の春を代表するお祭りとして、公園通りの一部を歩行者天国にして様々なイベントを実施。</p> <p>多くの露店が並んだ他、忍城おもてなし甲冑隊や行田ゼリーフライ大使の潮崎ひろのさんによるステージが披露された。</p> <p>また、水城公園市民広場では、「ぬまのほとりであいましょう」が開催され、多くの来場者でにぎわった。</p>
事業経費	800,000円
備考	主催:行田春まつり実行委員会

<会場の様子>



<ステージの様子>



▲忍城おもてなし甲冑隊



▲潮崎ひろのさん

## 2.

事業名	市民活動フェア 2024 春まつり
担当部署	市民生活部 地域活動推進課
実施年月日	令和6年4月6日(土)
実施場所	コミュニティセンターみずしろ
参加人数	約1,000名
事業内容及び効果	<p>市民公益活動登録団体の活動発表の場として、活動内容の周知や新規会員募集のための情報発信を行った。また、来場者には市民活動を体験する場、市民活動参加のためのきっかけづくりを提供した。</p> <p>具体的には、市民活動団体紹介のパネル展示、活動発表ステージ、物販等を行った。</p> <p>イベント準備の段階から各団体の横のつながりができたこと、社会福祉協議会等にも参加を呼びかけたことにより、協働意識を醸成することができた。</p> <p>また、行田春まつりと同時開催することにより、コミュニティセンターみずしろ周辺に賑わいを創出し、市民活動の活性化を促進した。</p>
事業経費	—
備考	



▲忍の行田の昔ばなし語り部の会がステージ発表している様子



▲各団体及び社会福祉協議会の物販の様子



▲来場者と一緒に3B体操をしている様子



▲にほんご教室が外国人と折り紙体験をしている様子



◀こぜにちゃんが来場者と触れ合う様子

## 3.

事業名	第38回陸王杯行田市鉄剣マラソン大会
担当部署	生涯学習部 スポーツ振興課
実施年月日	令和6年4月7日(日)
実施場所	古代蓮の里
参加人数	3,264名
事業内容及び効果	<p>古代蓮の里を出発し、大会名の由来となった国宝「金錯銘鉄剣」が出土した稲荷山古墳がある「さきたま古墳公園」などを巡るコースで開催され、多くの参加ランナーに、大会テーマである『古代ロマンと歴史が息づくまちを駆け抜ける』を体感していただくことができた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>▲1 kmの部スタート時の様子</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>▼大会中の様子</p>  </div> </div>
事業経費	20,443,000円
備考	<p>主催：行田市スポーツ協会  共催：行田市、行田市教育委員会、(公財)行田市産業・文化・スポーツいきいき財団</p>

## 4.

事業名	春の収蔵品展「忍城ゆかりの武具」
担当部署	生涯学習部 郷土博物館
実施年月日	令和6年4月20日(土)～5月26日(日)
実施場所	郷土博物館 企画展示室
参加人数	展示期間中の来館者 11,197 名
事業内容及び効果	<p>忍城・忍藩ゆかりの甲冑・刀剣などを展示するとともに地域に根付いた武家文化を紹介。</p> <p>近年の発掘調査で忍城から出土した中世の籠手を初公開した。</p>  <p>▲企画展示室での「忍城ゆかりの武具」展示風景</p>
事業経費	32,164 円
備考	

## 5.

事業名	大将まつり2024 成田長親忍城城主就任434周年 長親！さぼらない宣言！
担当部署	—
実施年月日	令和6年6月1日(土)
実施場所	忍城址
参加人数	来城者 約500名
事業内容及び効果	<p>戦国時代に豊臣秀吉の大軍勢より忍城を守り切った戦の総大将である成田長親を称える催しとして開催。</p> <p>忍城攻防戦が行われた6月～7月の期間内で開催され、行田市を中心に活動をするアーティストやご当地ヒーロー等が集結して来城者をもてなし、市民や来城者が忍城や歴史に興味を持つキッカケとなっている。今回は市制施行75周年を記念し、ご当地観光武将隊として忍城おもてなし甲冑隊と同年に結成された「奥州仙台おもてなし集団伊達武将隊」と「やまがた愛の武将隊」も駆けつけ、県内外からの来場者で賑わった。</p>
事業経費	—
備考	主催:忍城おもてなし甲冑隊事務局



▲忍城おもてなし甲冑隊



▲奥州仙台おもてなし集団伊達武将隊



▲やまがた愛の武将隊



▲迫力の3隊合同演舞



▲県内外から訪れた来城者



▲出演者全員集合!!

6.

事業名	田んぼアート米づくり体験事業
担当部署	環境経済部 農政課
実施年月日	令和6年6月8・9日(田植え)及び10月13日(稲刈り)
実施場所	古代蓮の里 及び 東側圃場
参加人数	田植え・・820名 稲刈り・・222名 計1042名
事業内容及び効果	<p>県内有数の米の産地であることを活かした農業体験及び観光振興の取組みとして、行田タワーより鑑賞する「田んぼアート」を作成した。今年度は事業開始から17年目を迎え、能登半島地震からの復興応援をテーマに、能登地域に伝わる「キリコ祭り」を描いた。また、デザインの「がんばろう！」「能登」「復興祈願」の文字は、石川県立能登高等学校書道部員の作品を再現した。</p> <p>本取組みは、田植え・稲刈り時には農業体験コンテンツとして、見頃時期には観光コンテンツとして、農業への理解促進や食育の推進、さらには古代蓮会館への入館者数増加を通じた本市の観光振興に大きく寄与した。</p>
事業経費	10,000,000 円
備考	主催:田んぼアート米づくり体験事業推進協議会



▲田植え体験の様子



▲完成した田んぼアート



▲稲刈り体験の様子



▲稲刈り時のスマート農業実演  
(自動運転実演)

7.

事業名	第31回行田市綱引き大会
担当部署	生涯学習部 スポーツ振興課
実施年月日	令和6年6月29日(土)
実施場所	総合体育館メインアリーナ
参加人数	137名
事業内容及び効果	<p>児童の基礎体力の向上を目指すとともに、チーム内の協力や助け合いを通して思いやりの心を育み、親睦及び連帯感を深めることを目的に市内全小学生を対象に実施するもの。</p>  <p>▲大会中の様子</p>
事業経費	80,000円
備考	<p>主催：行田市学童スポーツ団体連絡協議会、行田市スポーツ少年団 共催：行田市教育委員会</p>

8.

事業名	第34回テーマ展「お伊勢まいりで行田」
担当部署	生涯学習部 郷土博物館
実施年月日	令和6年7月6日(土)～9月1日(日)
実施場所	郷土博物館 企画展示室
参加人数	展示期間中の来館者 13,162 名
事業内容及び効果	<p>【展覧会】 江戸時代から盛んに行われた伊勢講や信仰の様子について、地域に受け継がれた資料を展示、紹介した。</p> <p>【展示解説会】 日程: 令和6年7月6日(土)、13日(土)、15日(月・祝)、20日(土)、28日(日)、8月3日(土)、10日(土)、12日(月・祝)、18日(日)、25日(日) 計10日間、いずれも午後2時から 参加者: 178名</p> <p>【公開講演会】 伊勢へ行く 伊勢からやって来る 日時: 令和6年9月1日(日)午後2時から 講師: 熊谷市社会教育課市史編さん室・ 日本山岳修験学会理事 久保康顕氏 会場: 郷土博物館講座室 参加者数: 80名</p>
事業経費	1,411,826 円
備考	



▲企画展示室での「お伊勢まいりと行田」展示風景

9.

事業名	第74回“社会を明るくする運動”行田地区大会
担当部署	健康福祉部 地域共生社会推進課
実施年月日	令和6年7月6日(土)
実施場所	行田市教育文化センター「みらい」文化ホール
参加人数	298名
事業内容及び効果	<p>7月を“社会を明るくする運動”～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ協調月間～とし、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない安全・安心な地域社会を築くための活動を推進した。</p> <p>行田地区大会を開催し、元警察官の落語家による「交通・オレオレ詐欺のトーク」の講演と「歌とマリimbaとピアノコンサート」のアトラクションを参加者に楽しんでいただくとともに、社会を明るくする運動の活動の理解を深めた。</p>
事業経費	—
備考	主催：“社会を明るくする運動”行田地区推進委員会



▲あいさつの様子



▲アトラクション「トーンカラーによるコンサート」の様子



▲落語家による講演の様子

10.

事業名	第27回ときめきレインボーフェスティバル
担当部署	生涯学習部 生涯学習課
実施年月日	令和6年7月7日(日)
実施場所	行田市産業文化会館 ホール
参加人数	640名
事業内容及び効果	<p>行田市文化団体連合会加盟団体(ステージ部門)が日頃の活動成果を発表する場を提供するとともに、広く市民に鑑賞の機会を提供し市民文化の高揚を図ることを目的として実施。</p> <p>文化団体連合会加盟の9団体に加え、オープニングプログラムとして進修館高校ダンス部も参加し、多彩なステージを披露した。</p> <p>【出演団体】  行田市合唱連盟、行田演奏家連盟、行田吹奏楽連盟  行田邦楽協会、行田日本舞踊連盟、  行田ハーモニカソサエティー、行田詩吟連盟  行田市民謡協会、行田市フラダンス連盟</p>
事業経費	694,510円
備考	主催:行田市文化団体連合会、行田市教育委員会、 (公財)行田市産業・文化・スポーツいきいき財団

<各団体のステージ発表の様子>



▲行田ハーモニカソサエティー



▲行田詩吟連盟



▲行田日本舞踊連盟



▲進修館高校ダンス部

11.

事業名	2024行田浮き城まつり
担当部署	環境経済部 商工観光課
実施年月日	令和6年7月27日(土) 16時~20時30分 28日(日) 15時~21時
実施場所	27日(土):行田市駅前通り 28日(日):県道128号及び行田蓮田線
参加人数	約 35,000 名
事業内容及び効果	<p>行田の夏を彩るお祭りとして、市民の方はもとより多くの観光客でにぎわった。</p> <p>地域経済の活性化及びお祭りを通じて市民の交流が図られた他、「浮き城のまち行田」として本市のイメージアップに寄与した。</p>
事業経費	2,500,000 円
備考	主催:2024行田浮き城まつり実行委員会



▲会場の様子



▲開会セレモニー



▲だんべ踊りの様子



▲市内各地区から集まった山車

12.

事業名	一日市長体験
担当部署	総合政策部 秘書課
実施年月日	令和6年8月23日(金)
実施場所	市役所及び株式会社イサミコーポレーション
参加人数	8名
事業内容及び効果	<p>市内中学生を対象として「一日市長体験」を実施した。 参加者は模擬庁議や議場体験、市内企業訪問、模擬決裁、記者会見等を体験した。 子どもたちの市政への関心や理解を深めるとともに、郷土愛を育むことができた。</p>  <p>▲模擬庁議の様子</p>
事業経費	4,720円
備考	



▲議場体験の様子



▲模擬決裁の様子



▲市内企業訪問



▲記者会見の様子

13.

事業名	行田市敬老祝賀式典
担当部署	健康福祉部 高齢者福祉課
実施年月日	令和6年9月7日(土)
実施場所	教育文化センター「みらい」文化ホール
参加人数	126名
事業内容及び効果	<p>敬老模範家庭及び金婚夫婦を招待し、表彰状及び記念品の贈呈を行った。</p> <p>また、アトラクションとして、忍小学校児童による吹奏楽の演奏、春風亭柳太郎師匠による落語の上演を行った。</p> <p>多年に渡り社会の進展に貢献した高齢者に敬老の意を表するとともに、高齢福祉の向上に寄与した。</p>
	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>▲金婚夫婦の表彰</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>▼忍小学校吹奏楽部による演奏</p>  </div> </div>
事業経費	760,092円
備考	

14.

事業名	第7回ぎょうだ郷土かるた大会
担当部署	生涯学習部 生涯学習課
実施年月日	令和6年9月28日(土)
実施場所	総合体育館サブアリーナ
参加人数	39名
事業内容及び効果	<p>「ぎょうだ郷土かるた—改訂版—」を使用した大会として個人戦による競技を実施した。</p> <p>学年を考慮しながら参加者を5つのグループに分けてトーナメント戦を行い、各グループの優勝者を表彰した。</p> <p>主催である青少年育成会連絡協議会役員とともに、行田市ジュニア・リーダーズクラブが読み手・審判として参加した。</p> <p>行田の歴史や文化などについて理解を深め、郷土を愛する心を育てるとともに、青少年の健全育成に寄与する大会となった。</p>
事業経費	42,675 円
備考	主催:青少年育成会連絡協議会



▲会場の様子



▲試合中の様子



▲表彰式の様子

15.

事業名	トークイベント「能と足袋」
担当部署	環境経済部 商工観光課
実施年月日	令和6年10月5日(土)
実施場所	商工センターホール、パブリックホール
参加人数	50名
事業内容及び効果	<p>本市の伝統産業である「行田足袋」に親しみを持ってもらえるよう、10月8日の「行田足袋の日」にちなんだイベントを開催。</p> <p>金春流能楽師の山中一馬氏によるトークショー及び行田足袋組合の市内足袋事業者による足袋販売会を行った。山中一馬氏によるトークショーでは「能と足袋」と題して、能の歴史(変遷)や足袋との関係性に関する講演をいただいた。</p>  <p>▲山中氏による講演の様子</p>
事業経費	263,445 円
備考	主催:行田足袋組合

16.

事業名	第37回企画展「布をまとうー古代人の衣ー」
担当部署	生涯学習部 郷土博物館
実施年月日	令和6年10月12日(土) ~ 11月24日(日)
実施場所	郷土博物館 企画展示室
参加人数	展示期間中の来館者 13,103名
事業内容及び効果	<p>【オープンセレモニー】 日時:10月12日(土)午前10時から 参加者:48名</p> <p>【展覧会】 各地の遺跡に残された糸をつむぐ道具・布を織る道具(木製品・石製品など)や、古墳時代の衣装をよく表している人物埴輪を取り上げて、古代の人びとがどのように布をつくり、まとっていたのかを紹介した。</p> <p>【展示解説会】 日程:10月19日(土)、26日(土)、11月9日(土) 計3日間、いずれも午後2時から 参加者:77名</p> <p>【公開講演会】人物埴輪からみた古墳時代の衣服 日時:11月4日(月・祝)午後2時から 講師:東京学芸大学教育学部教授 日高慎氏 会場:郷土博物館講座室 参加者:69名</p>
事業経費	3,215,323 円
備考	



▲企画展示室での  
「布をまとぅー古代人の衣ー」展示風景

17.

事業名	第32回浮き城のまち行田こどもまつり
担当部署	生涯学習部 生涯学習課
実施年月日	令和6年10月13日(日)
実施場所	水城公園 市民広場
参加人数	433名(スタンプラリー完走者数)
事業内容及び効果	<p>「元気いっぱい夢いっぱい」～つくって遊ぼう～をテーマに行田市ジュニア・リーダーズ・クラブやボーイスカウト埼玉県連盟行田第1団など9つの団体が6つのブースを出展し、多くの子どもたちが各ブースでクラフトなどを楽しんだ。各ブースを回るスタンプラリーも併せて実施し、景品の贈呈を行った。</p> <p>【各ブースの内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①バルーンアート作成</li> <li>②チョークで地面にらくがき</li> <li>③ぶんぶんごま作成</li> <li>④軍手を使ったぬいぐるみ作成</li> <li>⑤ひもや厚紙を使ったブローチ作成</li> <li>⑥ストローを使ったおもちゃ作成</li> </ul>
事業経費	698,541円
備考	



▲ぬいぐるみ制作の様子



▲バルーンアートブースの様子



▲ぶんぶんごまブースの様子



▲らくがきコーナーの様子

18.

事業名	防犯のまちづくり・暴力追放市民大会
担当部署	市民生活部 地域活動推進課
実施年月日	令和6年10月19日(土)
実施場所	教育文化センターみらい 文化ホール
参加人数	約200名
事業内容及び効果	<p>全国地域安全運動期間に合わせ、防犯意識及び暴力排除意識の高揚のため、市民大会を開催した。</p> <p>第1部では、地域安全功労者及び防犯ポスター優秀賞受賞者の表彰を行い、第2部では防犯活動事例発表、警察講話、犯罪被害者基調講演を行った。</p> <p>約200名の来場者に啓発品を配付し、防犯意識及び暴力排除意識の高揚に寄与することができた。</p>
事業経費	253,518 円
備考	主催:行田市防犯協会



▲防犯ポスター表彰の様子



▲犯罪被害者ご遺族による基調講演の様子



▲地域防犯推進委員による事例発表の様子



▲地域功労団体表彰の様子

19.

事業名	行田古墳フェスティバル
担当部署	環境経済部 商工観光課
実施年月日	令和6年10月20日(日)10時から16時
実施場所	さきたま古墳公園 さきたまテラス周辺
参加人数	15,000名
事業内容及び効果	<p>本市の観光スポットである埼玉古墳群へのさらなる誘客と古墳の魅力を改めて体感していただくことを目的に、行田古墳フェスティバル実行委員会を設置した上で「行田古墳フェスティバル」を開催した。</p> <p>ステージイベント、古墳ガイドツアー、はにわづくり体験及び埼玉古墳群を巡るスタンプラリーを実施した他、飲食・物販やキッチンカーの出店など、会場は大いににぎわった。</p> <p>【主な実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・WORKSHOP(古墳ガイドツアー、はにわづくり体験、スタンプラリー、はにわにさわってみようなど体験型の出展)</li> <li>・PR ブース(他市町村の古墳などをPR)</li> <li>・ステージイベント(行田市観光大使鳥居みゆきさん、Noe、古墳シンガーまりこふんさんによるイベント)</li> <li>・テントやキッチンカーでの出店</li> </ul>
事業経費	2,000,000円
備考	主催:行田古墳フェスティバル実行委員会



▲ステージイベントを観覧する来場者と踊る子供たち



▲キッチンカーに並ぶ来場者



▲WORKSHOP に並ぶ来場者

20.

事業名	第9回図書館まつり
担当部署	生涯学習部 図書館
実施年月日	令和6年10月26日(土)
実施場所	生涯学習部 図書館
参加人数	158名
事業内容及び効果	<p>保存期間の過ぎた雑誌を販売する「雑誌リサイクル市」や、普段は見る事ができない「移動図書館車の見学」、普段は入ることができない書庫に入る事ができる「図書館ぐるっと探検」、子供向けの「おはなし会」や「おりがみの部屋」など、様々な事業を展開し、多くの人に参加してもらうことで図書館の魅力を発信した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>▲移動図書館車</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>▼おりがみのへや入口</p>  </div> </div>
事業経費	
備考	

21.

<p>事業名</p>	<p>第71回行田市民体育祭</p>
<p>担当部署</p>	<p>生涯学習部 スポーツ振興課</p>
<p>実施年月日</p>	<p>令和6年10月27日(日)</p>
<p>実施場所</p>	<p>総合公園自由広場</p>
<p>参加人数</p>	<p>約 2,000 名</p>
<p>事業内容及び効果</p>	<p>健康で明るく豊かな市民生活を築くため、スポーツ・レクリエーションを広く普及し、生涯にわたる市民のスポーツ活動を一層活発化するとともに、健康の保持増進・市民相互の連帯意識の高揚を図るために実施。</p> <p>スポーツ・レクリエーション種目による市内15地区対抗戦を行った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>▲開会式での入場行進</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>▼パン食い競争の様子</p>  </div> </div>
<p>事業経費</p>	<p>831,000 円</p>
<p>備考</p>	<p>主催：行田市スポーツ協会 共催：行田市、行田市教育委員会</p>

22.

<p>事業名</p>	<p>第50回行田市菊花展</p>
<p>担当部署</p>	<p>環境経済部 商工観光課</p>
<p>実施年月日</p>	<p>令和6年10月30日(水) ~ 11月10日(日)</p>
<p>実施場所</p>	<p>忍城址</p>
<p>参加人数</p>	<p>1,484名</p>
<p>事業内容及び効果</p>	<p>市の花である菊の出展を募集し、忍城址内で展覧会を実施。展覧会では、行田市菊花連絡協議会の会員による説明を行い、多くの来場者を迎え、大変にぎやかなものとなった。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>▲会場に展示された菊</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>▼出展された菊を審査する様子</p>  </div> </div>
<p>事業経費</p>	<p>1,054,000円</p>
<p>備考</p>	<p>主催:行田市菊花連絡協議会</p>

23.

事業名	埼玉県芸術文化祭2024地域文化事業 第76回行田市文化祭
担当部署	生涯学習部 生涯学習課
実施年月日	●展示部門 令和6年11月1日(金)～11月4日(月) ●囲碁大会、将棋大会 10月26日(土)、10月27日(日) ●行田市菊花展 10月30日(水)～11月10日(日) ●発表部門 11月23日(土)
実施場所	産業文化会館・コミュニティセンターみずしろ、 教育文化センター「みらい」
参加人数	3,260名
事業内容及び効果	<p>広く文化に親しむ人々の発表及び鑑賞の場を設けることにより、行田市文化の発展に寄与することを目的として開催した。</p> <p>市内各所の施設において、展示発表や大会、ステージ発表が行われ、日頃からの活動の成果を発表する場となるとともに、市民の生涯学習の推進につながる事業となった。</p> <p>【参加団体】</p> <p>●展示部門(総勢 1,105 点の作品展示) 行田美術会、行田市書道人連盟、行田市写真連盟、 美布の会、創美会、行田市工芸協会カリタスS41、 行田市華道会、行田絵手紙あおい会、行田市俳句連盟、 行田市菊花連絡協議会、さきたま盆栽会</p> <p>●大会・発表部門(囲碁・将棋大会、茶席2席、ステージ発表) 行田市碁楽会、行田市将棋連盟、行田市茶道会、 行田ハーモニカソサエティー、行田詩吟連盟、 行田市フラダンス協会、行田市民謡協会</p>
事業経費	336,207円
備考	共催:埼玉県、埼玉県教育委員会、行田市文化団体連合会、 行田市、行田市教育委員会、埼玉県芸術文化祭実行委員会 (公財)行田市産業・文化・スポーツいきいき財団

<展示部門>

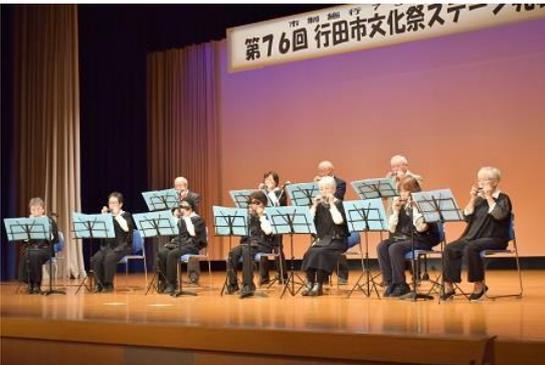


▲絵画部門展示及び体験コーナーの様子



▲絵手紙体験コーナーの様子

<発表部門>



▲行田ハーモニカソサエティー



▲行田市フラダンス協会



▲行田市民謡協会

## 24.

事業名	市制施行75周年・文化の日記念式典
担当部署	総務部 総務課
実施年月日	令和6年11月3日(日曜日)
実施場所	教育文化センターみらい 文化ホール
参加人数	366名
事業内容及び効果	<p>市制施行75周年記念式典と文化の日記念式典を併せて開催し、様々な分野で多大なる活躍をされ、市民の模範となる顕著な功績を挙げられた方々への表彰を行い、敬意と感謝を表すことで、その取り組みの輪をさらに広めることに寄与した。</p> <p>75周年の節目の年に当たる今年は、埼玉県知事をはじめ、多くの来賓の皆様に参加いただき、行田アンサンブル協会及び行田音楽家協会の合同によるオープニング・コンサートを行うなど、75周年の節目を盛大に祝うイベントとなった。</p> <p>また、この節目の年を契機に、市及び市民の誇りとなるべき素晴らしい業績を残された本市に縁がある方の功績を広く称えることなどを目的に、新たに「行田市栄誉賞」を創設し、その第1号として、本市出身で、内閣府事務次官、厚生労働事務次官及び人事院総裁を歴任されるなど、国家行政組織の中核において、他にない多大な功績を残された「江利川毅」氏へ行田市栄誉賞を贈呈することで、郷土意識の高揚や地域への愛着の醸成を図った。</p>
事業経費	1,672,814円
備考	



▲市栄誉賞表彰の様子



▲市栄誉賞表彰受賞者あいさつの様子



▲市民功労表彰の様子



▲代表謝辞の様子



▲式典の様子



▲オープニング・コンサートの様子

25.

事業名	秋の読書週間特別映画会
担当部署	生涯学習部 図書館
実施年月日	令和6年11月3日(日)
実施場所	行田市教育文化センター「みらい」2階 映像ホール
参加人数	16名
事業内容及び効果	読書週間に合わせアニメ映画「かがみの孤城」を上映した。原作本は図書館に所蔵があることから、来館や貸出につながる事業となった。
事業経費	—
備考	

26.

事業名	第39回浮き城のまち行田少年の主張大会
担当部署	生涯学習部 生涯学習課
実施年月日	令和6年11月9日(日)
実施場所	教育文化センターみらい 文化ホール
参加人数	169名
事業内容及び効果	<p>児童、生徒が日常生活の中で考えていることや感じていること、体験したことなどを発表する大会を開催した。大会当日は、市内小中学校の代表児童生徒20名(小学生12名、中学生8名)から、活気に満ち情熱が込められた発表がされた。</p> <p>発表者である児童・生徒たちの成長の一助となるとともに、聞き手の小・中学生に対する理解を深め、青少年健全育成の推進につながる事業となった。</p> <p>●対象者 小学校5・6年生及び中学生</p> <p>●テーマ 未来について考えること(希望・提案・将来の夢)や学校・家庭・地域・社会・友達のことなどについて、日頃感じていることや訴えたいことなど</p> <p>●作品応募数 680点</p>
事業経費	164,178円
備考	



▲発表中の様子(小学生の部)



▲発表中の様子(中学生の部)



▲観客・発表者席の様子



▲表彰の様子

27.

事業名	行田市防災フェア
担当部署	市民生活部 危機管理課
実施年月日	令和6年11月9日(土)
実施場所	総合体育館入り口前スペース、サブアリーナ、2階研修室
参加人数	来場者約 2,000 名 (うち訓練参加者36名)
事業内容及び効果	<p>地域防災力の向上を目的に、例年実施してきた防災訓練に加え、子供から大人までの幅広い世代に「自分の身は自分で守る」という自助・共助の意識づけの機会とすることを目的とした防災フェアを開催した。</p> <p>イベント内では防災士等訓練参加者向けに、降雨体験車による降雨体験及び起震車による地震体験、陸上自衛隊第32普通科連隊による応急手当訓練を行ったほか、市民向けにも以下のイベントを行い、来場者500名の目標のところを約2,000名の方に来場いただくなど、楽しみながら防災に関する意識づけ・啓発を図ることができた。</p> <p>【市民向けイベント内容】</p> <p>①消防・自衛隊・警察車両展示等(消防、陸上自衛隊第32普通科連隊、行田警察署協力)</p> <p>②降雨体験(利根川上流河川事務所協力)</p> <p>③地震体験(県の起震車使用)</p> <p>④総務省消防庁消防団PR地域派遣事業(よしもと埼玉住みます芸人参加のステージイベント及び防災フェア体験)</p> <p>⑤災害食試食(行田市食生活改善推進協議会協力)</p> <p>⑥災害写真・各種啓発写真</p> <p>⑦企業ブース(東京ガス株式会社、(株)サイボウ、大塚製薬株式会社協力)</p> <p>⑧ザブトン教授による防災教育(JA共済連協力)</p>
事業経費	613,000 円
備考	



▲降雨体験の様子



▲地震体験の様子



▲ステージイベントの様子



▲ザブトン教授による防災教育の様子



▲災害食の試食の様子



▲企業ブースの様子



▲消防車の展示と放水体験の様子



▲白バイの展示と試乗の様子

事業名	第26回行田市障がい者(児) スポーツレクリエーション大会
担当部署	健康福祉部 福祉課
実施年月日	令和6年11月16日(土)
実施場所	総合体育館 メインアリーナ
参加人数	303名
事業内容及び効果	<p>障がい者(児)とその家族及びボランティアが同大会の参加を通じて、お互いの交流を深めると共に、障がい者(児)の健康増進と社会参加の促進を図り、地域福祉の向上の資することを目的として同大会を開催。同大会を通じて、市制75周年記念の周知を行った。</p> <p>競技参加者として、8事業所、6団体及びボランティアとして民生委員、合計303名が参加した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>▲風船バレーの様子</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>▼ボッチャの様子</p>  </div> </div>
事業経費	133,086 円
備考	

29.

事業名	第17回彩の国21世紀郷土かるた行田大会
担当部署	生涯学習部 生涯学習課
実施年月日	令和6年11月16日(日)
実施場所	総合体育館サブアリーナ
参加人数	29名
事業内容及び効果	<p>市内小学生が「彩の国21世紀郷土かるた」の競技を通じ、楽しく遊びながら埼玉県歴史や文化などについて学ぶとともに、郷土を愛する心や礼儀正しさを育てることを目的として実施した。読み手および審判は行田市ジュニア・リーダーズクラブが担当した。</p> <p>団体戦、個人戦による競技を行い、2位までに入賞したチームおよび選手は3月に実施される県大会に出場することもあり、白熱した試合が繰り広げられた。</p> <p>参加児童皆が真摯な姿勢で競技に挑んでおり、郷土を愛する心を育てるとともに、青少年の健全育成に寄与する大会となった。</p>
事業経費	56,520円
備考	共催:行田市教育委員会、行田市子ども会育成連絡協議会 行田市PTA連合会



▲個人戦開始前の様子(絵札を並べている様子)



▲個人戦試合中の様子



▲団体戦試合中の様子

30.

事業名	第45回行田商工祭・忍城時代まつり
担当部署	環境経済部 商工観光課
実施年月日	令和6年11月17日(日)
実施場所	産業文化会館南側芝生広場、行田市バスターミナル駐車場 他
参加人数	22,000名
事業内容及び効果	<p>市役所周辺や忍城址において戦国時代の武将に扮した武者行列や火縄銃を使った演武などが行われ、大勢の観客でにぎわった。</p> <p>また、数多くの市内商店が出店する物産大バザール、様々な企業や団体による事業活動 PR ブースなども設けられ、商工業の振興を図るとともに地域社会のコミュニティ形成に寄与した。</p>
事業経費	1,000,000 円
備考	主催:第45回行田商工祭・忍城時代まつり実行委員会



◀ 時代まつり武者行列  
開会式会場から忍城への移動中

時代まつりステージ  
忍小学校吹奏楽演奏場面 ▶



◀ 時代まつり  
物産バザール会場の様子

31.

事業名	大人のための朗読会
担当部署	生涯学習部 図書館
実施年月日	令和6年11月19日(火)
実施場所	教育文化センターみらい 文化ホール
参加人数	49名
事業内容及び効果	<p>読書の秋にちなみ、大人たちにも小説等を耳から聴くことの楽しさを知ってもらうことを目的としたもの。</p> <p>行田朗読の会の協力のもと、成人向けの朗読会を開催し、8作品の朗読を行った。</p> <p>参加者には耳からの読書を楽しんでいただき、新しい読書体験の提供の場となった。</p>  <p>▲当日の会場の様子</p>
事業経費	—
備考	

事業名	行田市人権教育合同学習講演会
担当部署	生涯学習部 生涯学習課
実施年月日	令和6年11月30日(土)
実施場所	教育文化センターみらい 文化ホール
参加人数	469名
事業内容及び効果	<p>人権問題の早期解決に向け、正しい認識と理解を深めるため、俳優で一般社団法人 Get in touch 代表の東ちづる氏を講師にお招きし、『エンターテイメントで「まぜこぜの社会」をめざす』と題して、講演会を開催した。また、会場ホール入口では、市内児童生徒の「人権ポスター展」を開催した。当日、会場には定員いっぱいの多くの市民が来場した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>▲講演会の様子</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>▼人権ポスター展の様子</p>  </div> </div>
事業経費	523,880 円
備考	共催：行田市、行田市教育委員会、行田市人権教育推進協議会、熊谷・秩父人権啓発活動地域ネットワーク協議会、熊谷人権擁護委員協議会行田部会、行田市PTA連合会

33.

事業名	わらアート制作事業
担当部署	環境経済部 商工観光課
実施年月日	令和6年11月30日(土) ~ 令和7年3月31日(月)
実施場所	古代蓮の里 芝生広場
参加人数	—
事業内容及び効果	<p>田んぼアートの稲わらを用いた「わらアート」を制作。  田んぼアートと同様に「能登」の復興・再生の願いを込め、「加能ガニ」と「キリコ」をわらで制作し、古代蓮の里芝生広場に展示した。  報道機関にも取り上げられ、来館者の増加に寄与した。</p> <p>【展示期間】  令和6年11月30日(土) ~ 令和7年3月31日(月)</p> <p>【ライトアップ期間】  令和7年2月24日(月)までの 16:30~21:00 にライトアップを実施</p>
事業経費	1,903,289円
備考	



▲展示されたわらアート  
(右:キリコ 左:加能ガニ)

34.

事業名	第66回”浮き城のまち行田”駅伝競走大会
担当部署	生涯学習部 スポーツ振興課
実施年月日	令和6年12月1日(日)
実施場所	総合公園自由広場及びランニングコース
参加人数	490名
事業内容及び効果	<p>行田市総合公園内にて、一般の社会人チーム、小学生・中学生・高校生のチーム、市の地区スポーツ協会から選出されたメンバーによるチーム等、幅広い世代から多くの参加により開催された。</p> <p>本大会を通じて、スポーツを通じた市民の健康促進と、競技スポーツの振興に寄与した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">▲大会中の様子</p>
事業経費	486,000円
備考	<p>主催：行田市スポーツ協会          共催：行田市、行田市教育委員会、(公財)行田市産業・文化・スポーツいきいき財団、関東地方郵便局長協会</p>

35.

事業名	冬の收藏品展「おもちゃのどうぶつえん ～藤間コレクション郷土玩具の世界～」
担当部署	生涯学習部 郷土博物館
実施年月日	令和6年12月7日(土)～令和7年1月13日(月・祝)
実施場所	郷土博物館 企画展示室
参加人数	展示期間中の来館者6,449名
事業内容及び効果	<p>手仕事で作られた郷土玩具のコレクションから、動物をモチーフにしたものを大集合させ紹介した。</p>  <p>▲企画展示室での「おもちゃのどうぶつえん ～藤間コレクション郷土玩具の世界～」展示の様子</p>
事業経費	32,164円
備考	

36.

事業名	マンホールカード特別配布(受験生応援セット)
担当部署	都市整備部 下水道課
実施年月日	令和6年12月1日(日) ~ 令和7年1月11日(土)
実施場所	郷土博物館
参加人数	75名
事業内容及び効果	<p>マンホールは「丸い」「落ちない」「滑らない」と受験生にありがたいフレーズが詰まっていることから、受験シーズンの到来にあたり、以前試作した「マンホール缶バッジ」を活用した「受験生応援セット」を配布した。</p> <p>マンホールカードと缶バッジを合格祈願袋に入れた「受験生応援セット」を市政施行75周年を記念して75セット配布した。(12月1日(日)配布開始、1月11日(土)配布終了)</p> <p>配布状況は次のとおり。(アンケートより)  <b>【居住地】</b>市内・22、市外・53 <b>【年齢】</b>19歳以下・23、20～60歳・42、61歳以上・10</p> <p>訪れた方は市外が7割であり、本市のPRに貢献した。</p>
事業経費	1,856円
備考	

## 合格祈願「受験生応援セット」を配布 します！

更新日：2024年11月26日

**配布終了しました。**

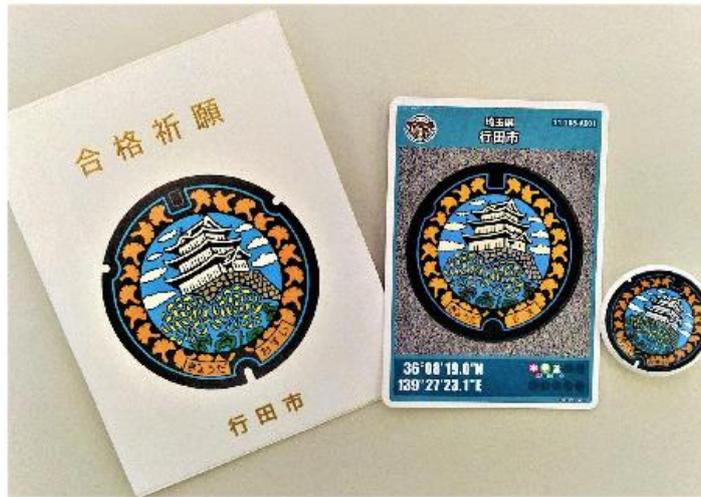
受験シーズンの到来に当たり、受験生を応援するため、

マンホールカードと缶バッジを封入した**合格祈願「受験生応援セット」**を配布します。

マンホールの蓋には「丸い」「断ちない」「割らない」と受験生にありがたいフレーズが貼まっています。

さらに、本市のカラーマンホールは、墨田舞音（石田三蔵）の水攻めにも落ちなかった「郡城」をデザインしたもので、受験生にとっては非常に縁起の良いものになっています。

行田市市制施行75周年を記念して**75セットの限定配布**になります。（無料）



配布開始日：令和6年12月1日（日曜日）

配布場所：行田市郷土博物館（住所：行田市本丸17番23号 電話：048-554-5911）

配布時間：9:00～16:30

配布数：75セット（なくなり次第終了）

※1人につき1セットの配布になります。

※事前予約、郵送は受け付けていません。

※郷土博物館は月曜日が休館日です。

※転売等は禁止です。

<https://www.city.yamanashi.jp/tourism/wjogam/daigaku/0814.html>

1/1

▲マンホールカードを配布した際の市ホームページ

37.

事業名	忍伝説2024
担当部署	—
実施年月日	令和6年12月14日(土)、15日(日)
実施場所	商工センター
参加人数	約400名
事業内容及び効果	<p>行田市の誇る忍城の歴史を市内の子ども達に伝え残していくことを目的に令和4年に初めて開催し、忍城おもてなし甲冑隊を中心に市民出演者を募り毎年開催している。</p> <p>回を重ねるごとに市民出演希望者も増え、今回の総出演者数は約50名となった。</p>
事業経費	—
備考	主催:NPO 法人埼玉情報センター—



▲合戦シーンの様子



▲お祭りシーンの様子



▲舞台「忍伝説 2024」チラシ

38.

事業名	市民フォーラム(地域包括ケア)
担当部署	健康福祉部 高齢者福祉課
実施年月日	令和7年1月30日(木)
実施場所	教育文化センターみらい 文化ホール
参加人数	189名
事業内容及び効果	<p>認知症となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続け、誰でも活躍できる社会、地域づくりを目指し、認知症への理解や対応、地域支援の輪を広げることを目的に実施するもの。</p> <p>市内のオレンジカフェの紹介、VR動画の視聴や体験を通じて認知症の方に対して理解を深めた。</p> <p>また、埼玉県立大学地域連携センター教授である吉田俊之氏をお招きし、認知症をテーマとした講演を行う中で、認知症の方との向き合い方などがまちづくりのヒントになるとご教示いただいた。</p>
事業経費	38,600円
備考	



▲認知症地域支援推進員が  
認知症カフェについて説明している様子



▲講師の吉田教授が説明している様子



▲講師の大塚製薬株式会社が説明している様子

39.

事業名	第39回行田市小中学生将棋大会
担当部署	生涯学習部 中央公民館
実施年月日	令和7年1月11日(土)
実施場所	中央公民館
参加人数	32名
事業内容及び効果	<p>将棋を通じて、小・中学生の思考力・集中力を高めるとともに、協力する心を養い、大会参加により他校の児童・生徒との親睦を深め、青少年の健全育成を図ることを目的に開催するもの。</p> <p>個人戦の予選リーグ、決勝トーナメントを実施し、優勝者・準優勝者・第3位に表彰及び記念品を授与した。また、予選敗退者を対象に中央公民館長杯を開催し、入賞者に記念品を贈呈した。さらに、宮宗紫野女流二段による「指導対局」、アトラクションとして「次の一手」、「詰め将棋」のコーナーを設け対戦するだけでなく、将棋を楽しめるような催しを実施した。</p> <p>当日は総勢32名の参加があり、子ども達は真剣に、また、生き生きと将棋に取り組んでおり、伝統文化である将棋の普及と発展に寄与した。</p>
事業経費	105,389円
備考	



▲開会式の様子



▲小学生の部の様子



▲中学生の部の様子

40.

事業名	第33回行田市なわとび大会
担当部署	生涯学習部 スポーツ振興課
実施年月日	令和7年1月25日(土)
実施場所	総合体育館 メインアリーナ
参加人数	54名
事業内容及び効果	<p>児童の体力向上を目指すとともに、自己の記録に挑戦しようとする精神の育成を図ることを目的とするものとするもの。</p> <p>市内全小学生を対象に「個人の部」「団体の部」を設け実施した。</p>  <p>▲大会中の様子</p>
事業経費	80,000円
備考	<p>主催：行田市学童スポーツ団体連絡協議会、行田市スポーツ少年団</p> <p>共催：行田市教育委員会</p>

41.

事業名	第15回行田市少年少女囲碁大会
担当部署	生涯学習部 中央公民館
実施年月日	令和7年2月8日(土)
実施場所	中央公民館
参加人数	47名
事業内容及び効果	<p>日本の伝統文化である囲碁を通じて、子どもたちの思考力や集中力を養うとともに、礼儀やマナーを育成することを目的とし開催するもの。</p> <p>日本棋院から黒瀧八段と三村三段を迎え、19路盤戦のノーハンデ戦、ハンデ戦、13路盤戦、アトラクションとして「プロ棋士による指導碁」、「親子入門教室」を実施し、入賞者には盾と賞状と記念品を贈呈した。さらに、閉会式において、プロ棋士のサイン色紙が当たる抽選会を実施し、子ども達が大会を楽しめるような催しを開催した。</p> <p>子ども達は真剣に楽しくに囲碁に取り組み、囲碁を通じて子供たちの思考力・集中力を養うことができた。また、他の参加者との交流が促進され、子ども達同志のコミュニケーションも深まり、伝統文化である囲碁の普及と発展に寄与した。</p>
事業経費	101,438 円
備考	



▲19路盤ハンデ戦の様子



▲黒瀧八段による指導碁の様子



▲三村三段による指導碁の様子



▲表彰式の様子

42.

事業名	博学連携展示「行田市のうつりかわり」
担当部署	生涯学習部 郷土博物館
実施年月日	令和7年2月1日(土)～4月6日(日)
実施場所	郷土博物館 企画展示室
参加人数	展示期間中の来館者 9,910名(3月23日時点)
事業内容及び効果	<p>小学3年生の郷土学習授業に連携して、明治～昭和を中心に行田市の移り変りの様子と当時使われていたくらしの道具を展示した。</p> <p>今年度は、風呂敷包みや黒電話を触って体験できるコーナーを設置した。</p>  <p>▲企画展示室での 「行田市のうつりかわり」展示風景</p>
事業経費	32,164円
備考	

43.

事業名	第27回公募行田市美術展
担当部署	生涯学習部 生涯学習課
実施年月日	令和7年2月6日(木)～9日(日)
実施場所	総合体育館サブアリーナ
参加人数	1,409名
事業内容及び効果	<p>市内及び近隣市町村に在住・在勤・在学の15歳以上の方(中学生を除く)による絵画・彫塑、工芸、書、写真の創作作品を公募し、賞の授与および展示を行った。今年度は各部門に『市制施行75周年記念賞』を設置した。</p> <p>文化・芸術活動への参加意欲がある方や団体へ作品の発表・展示を行う場を提供するとともに、文化・芸術活動を鑑賞する機会の拡充を図り、行田市の文化の発展に寄与した。</p> <p>合計294点の作品が陳列され、美術展当日は多くの鑑賞者でにぎわった。</p> <p>【陳列点数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●絵画・彫塑 126点(絵画 117点・彫塑 9点)</li> <li>●工芸 37点 ●書 65点 ●写真 66点</li> </ul>
事業経費	1,221,225円
備考	共催:行田市教育委員会、行田市美術家協会 (公財)行田市産業・文化・スポーツいきいき財団



▲美術展会場の様子



▲授賞式の様子

44.

事業名	第29回行田市公民館ふれあいコーラス発表会
担当部署	生涯学習部 中央公民館
実施年月日	令和7年3月8日(土)
実施場所	教育文化センターみらい 文化ホール
参加人数	253名
事業内容及び効果	<p>市内の公民館で活動するコーラスグループが日頃の活動の成果を発表し、コーラスを通して親睦と交流の輪を広げることを目的として発表会を開催した。</p> <p>今年は、各地域公民館から11組のコーラスグループが参加し、発表会に向けて一生懸命練習に取り組んだ成果を披露した。</p> <p>発表会の最初と最後には、会場の一般参加者も参加して全員で合唱をするなど、音楽を通じて親睦と交流、感動を共有することができた。</p>
事業経費	16,635円
備考	



▲コーラスグループによる  
▼発表の様子



▲会場の観客も一緒に合唱している様子

## 4 広報・宣伝

### 1. 新聞・テレビ等マスメディア広告

事業名	各種メディア等での記事の掲載
担当部署	総合政策部 広報広聴課
実施年月日	通年
参加人数	○とねじん 総発行部数 56,400 部 ○測量&設計 総発行部数 1,200 部
事業内容及び効果	○とねじん11月号 巻頭特集において、『「皆さんと一緒に」つくる、これからの行田市』をテーマに市長へのインタビューを通じて、市制施行75周年記念事業の紹介や今後の市の展望についての記事などが掲載された。 ○測量&設計第76号 行政報告コーナーにおいて、『「新しい行田」への歩み』をテーマに、市制施行75周年記念事業の紹介や市の歴史・文化・観光についての記事が掲載された。
事業経費	
備考	



## 6 資料

### 1. 行田市制施行75周年記念事業実行委員会設置規程

#### 行田市制施行75周年記念事業実行委員会設置規程

##### (目的及び設置)

第1条 行田市制施行75周年記念事業(以下「記念事業」という。)の円滑な実施に資するため、行田市制施行75周年記念事業実行委員会(以下「実行委員会」という。)を設置する。

##### (所掌事項)

第2条 実行委員会の所掌事項は、次に掲げるものとする。

- (1) 市民及び市が実施する記念事業の総合的な調整、運営及び支援に関すること。
- (2) 前号に掲げるもののほか、実行委員会の目的を達成するために必要な業務に関すること。

##### (組織)

第3条 実行委員会の構成員は、市長、副市長、教育長、総合政策部長、参事、総務部長、市民生活部長、環境経済部長、健康福祉部長、都市整備部長、建設部長、消防長、学校教育部長、生涯学習部長及び議会事務局長とする。

2 委員長は市長、副委員長は副市長、事務局長は総合政策部長とする。

##### (会議)

第4条 実行委員会の会議は、委員長が招集する。

##### (庶務)

第5条 実行委員会の庶務は、総合政策部企画政策課において処理する。

##### (その他)

第6条 この規程に定めるもののほか、必要な事項は、委員長が別に定める。

##### 附 則

この規程は、令和5年12月11日から施行する。

## 2. 行田市制施行75周年記念事業検討委員会設置要綱

### 行田市制施行75周年記念事業検討委員会設置要綱

#### (目的)

第1条 行田市制施行75周年記念事業の推進にあたり、多くの市民が参加し、将来に向けた地域の活性化にふさわしい事業の検討を行うため、行田市制施行75周年記念事業

検討委員会(以下「検討委員会」という。)を設置する。

#### (所掌事項)

第2条 検討委員会は、行田市制施行75周年記念事業のうち、市民提案実施事業の選定にかかる事務を所掌する。

#### (組織)

第3条 検討委員会は、委員10名以内とし、市内の公共的団体から推薦を受けた者及び別表に定める行田市職員をもって組織し、委員長は、総合政策部長とする。

2 委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名した委員がその職務を代理する。

#### (委員の任期)

第4条 委員の任期は、市民提案実施事業の選定までとする。

#### (会議)

第5条 検討委員会は、委員長が招集し、その議長となる。

#### (庶務)

第6条 検討委員会の庶務は、行田市総合政策部企画政策課において処理する。

#### (その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は委員長が別に定める。

#### 附 則

この要綱は、令和5年12月20日から施行する。

#### 別表(第3条関係)

所 属	職 名
総合政策部	総合政策部長
総合政策部	企画政策課長
市民生活部	地域活動推進課長
環境経済部	商工観光課長
生涯学習部	生涯学習スポーツ課長

### 3. 行田市制施行75周年記念事業補助金交付要綱

#### 行田市制施行75周年記念事業補助金交付要綱

##### (趣旨)

第1条 この要綱は、行田市制施行75周年を記念し、市民自らが主体的に企画し実施する事業(以下「市民提案実施事業」という。)の実施に要する経費を補助することに関し、必要な事項を定めるものとする。

##### (補助対象事業)

第2条 補助金の対象となる市民提案実施事業は、市内に在住し、在勤し、若しくは在学する個人又はこれらの者を代表とする団体等が企画し、令和6年4月1日から翌年3月31日までの間に実施する事業で、次に掲げる要件を満たすものとする。

- (1) 市民が触れ合い、一体感が深められるもの
- (2) まちの活性化につながるもの
- (3) 市民の思い出に残るもの
- (4) 前各号に掲げるもののほか、市制施行75周年記念事業の趣旨に合致するもの

##### (交付対象者)

第3条 補助金の交付対象者は、前条の補助対象事業を実施する個人又は団体若しくはグループとする。

##### (補助金の額)

第4条 補助金の額は、100万円を上限とし、市民提案実施事業の内容等を考慮し、行田市制施行75周年記念事業実行委員会委員長(以下「委員長」という。)が行田市制施行75周年記念事業検討委員会の意見を聴いて決定する。

##### (事業の認定)

第5条 市民提案実施事業を実施しようとする者は、別に定める期日までに、事業の内容、収支予算等を記載した書類を委員長に提出しなければならない。

- 2 委員長は、前項の書類が提出されたときは、行田市制施行75周年記念事業検討委員会の意見を聴いて、市民提案実施事業の認定を行うものとする。
- 3 委員長は、市民提案実施事業の認定を行ったときは、速やかにその旨を申請者に通知するものとする。

##### (交付申請)

第6条 市民提案実施事業の認定を受けた者は、事業を着手する前までに次に掲げる書類を委員長に提出しなければならない。

- (1) 行田市制施行75周年記念事業補助金交付申請書(様式第1号)
- (2) 事業計画書(様式第2号)
- (3) 事業収支予算書(様式第3号)

##### (交付決定)

第7条 委員長は、補助金の交付申請があったときは、その内容を審査し、補助金の交付を決定するものとする。

2 委員長は、補助金の交付を決定したときは、行田市制施行75周年記念事業補助金交付決定通知書(様式第4号)により、速やかにその旨を申請者に通知するものとする。  
(事業計画の変更又は中止)

第8条 前条の規定により、補助金の交付の決定を受けた者(以下「補助対象者」という。)は、事業計画を変更するとき又は中止するときは、速やかに行田市制施行75周年記念事業補助金計画変更・中止承認申請書(様式第5号)を委員長に提出し、承認を受けなければならない。

2 委員長は、前項の規定による申請があったときは、その内容を審査し、適当であると認めるときは、行田市制施行75周年記念事業補助金計画変更・中止承認書(様式第6号)により、補助対象者に通知するものとする。  
(実績報告)

第9条 補助対象者は、市民提案実施事業が完了した後、速やかに次に掲げる書類を委員長に提出しなければならない。

- (1) 行田市制施行75周年記念事業補助金実績報告書(様式第7号)
- (2) 事業収支決算書(様式第8号)
- (3) 事業の実施状況写真
- (4) その他参考資料

(補助金の額の確定)

第10条 委員長は、前条の規定による報告があったときは、その内容を審査し、適当であると認めるときは、行田市制施行75周年記念事業補助金確定通知書(様式第9号)により当該補助対象者に補助金の交付額の確定を通知するものとする。

(補助金の請求)

第11条 前条の規定により補助金の交付額の確定の通知を受けた補助対象者が補助金の交付を受けようとするときは、行田市制施行75周年記念事業補助金交付請求書(様式第10号)を委員長に提出しなければならない。

(補助金の交付)

第12条 補助金は、市民提案実施事業が完了した後に交付するものとする。ただし、委員長が補助金の交付の目的を達成するために必要があると認めるときは、事業の完了前に補助金の全部又は一部を交付することができる。

(補助金の返還)

第13条 委員長は、補助対象者が次のいずれかに該当すると認めるときは、補助金の全部又は一部を取消し、又は既に交付した補助金の全部若しくは一部を返還させることができる。

- (1) 関係法令並びに本要綱及び補助金の交付決定に付した条件に違反したとき。
  - (2) 補助金を他の用途に使用したとき。
  - (3) 補助金の運用又は事業の執行方法が不相当と認められるとき。
  - (4) 補助金交付額が事業決算額より多額であったとき。
  - (5) 委員長の承認を受けずに、事業の内容を変更したとき。
  - (6) 偽りその他不正な手段により補助金の交付を受けたとき。
  - (7) 補助対象者の責めに帰すべき理由により補助金の交付ができないとき。
- (その他)

第14条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

この要綱は、令和5年12月20日から施行する。



事務局:行田市 総合政策部 企画政策課

〒361-8601 埼玉県行田市本丸2-5

TEL:048-556-1111 FAX:048-553-1355

E-mail:kikakuseisaku@city.gyoda.lg.jp